

アンナ先生 ありがとう！

長崎でもがんばってください

松前町に英語指導助手として来日していたアンナ先生（アンナ・フィツパトリック）が、7月に3年間の任期満了となり、松前町を離れました。現在は、長崎県大村市の英語指導助手としてご活躍されています。

松前町を離れるにあたって、アンナ先生に松前町での思い出について書いていただきました。



ANNA'S TOP TEN HAPPY MEMORIES OF MASAKI

3年間、松前町に住むことができて、私にとってとてもいい経験になりました。色々な人々と出会い、新しい生活や食べ物を食べる経験もできてうれしかったです。皆さん、本当にありがとうございました。皆さんのご親切と温かい心は、決して忘れません。松前町的生活…私には忘れられない思い出になりました。心から感謝します。

それでは、私の心に残った思い出 TOP TEN を発表します。

1. 愛媛県のみかん！
2. はんざり。夏祭りの時に挑戦しましたが、上手にできませんでした。でも、皆さんと一緒にはんざりができて楽しかったです。この思い出も忘れられません。
3. 自転車に乗ること。最初、自転車に乗ることができなかったのですが、一生懸命練習して今は乗れるようになりました。とても大変だったけれどよかったです。
4. 書道。日本の文化の勉強になりました。静けさの中で平和の感覚を経験しました。
5. 魚の頭を食べること。魚の頭もおいしいですね。（松前町に来るまでは信じられませんでした。）健康的な食事だと思います。
6. 日本語を勉強すること。間違った言葉を使うことが多かったのですが、本当に楽しかったです。
7. 着物を着て踊りや茶道をしたことも忘れられない思い出になりました。特に、何時間も正座するのは足がしびれました。
8. やきとり。とてもおいしかったです！ でも、納豆はちょっと…無理でした。小学生や中学生と一緒に給食を食べることが楽しかったです。
9. 学校帰りで自転車に乗る時、いつも子どもたち（約10人～20人）が「アンナ先生！」と言って、私について来ました。もちろん、その時はとても幸せな気持ちになりました。
10. 親和園に毎月訪問したこと。子どもたちと一緒にゲームをして、たくさん笑ったことは、本当に忘れられない思い出と経験でした。

3年間の期間がとても早かったのでびっくりしています。私は松前町を離れますが、できたら…時々、私を思い出してください。私は、松前町を決して忘れません。

リンダ先生 こんにちは！

新英語指導助手にリンダさんが来ました

Linda H Chin (リンダ H チン)

アメリカ出身

〈趣味〉

剣道・居合道・テコンドー・読書

▼笑顔で授業
(岡田中学校)



松前町では、平成4年度から英語教育の充実を図ると共に国際理解を進めるため、英語指導助手を招いています。

8月からアンナ・フィツパトリックさんにかわって、リンダ・チンさんを招きました。主に町内の中学校3校の英語指導を担当するほか、小学校・幼稚園での国際交流のための学習や中央公民館での英会話教室などに活躍していただきます。リンダさんは、大学でアジア学を専攻しており、日本語も堪能です。気軽に声をかけてあげてください。